

令和8年度只見町 はたちの成人式

ふるさとで迎えた人生の節目



「令和8年度只見町はたちの成人式」が8月15日、季の郷湯ら里で開催されました。今年20歳の節目を迎えたのは、平成18年4月2日〜平成19年4月1日生まれの48人。そのうち41人が式に参加しました。

式典では渡部勇夫町長が「変化の著しい時代のなかで、流されず自分の可能性を信じて堂々と歩んでほしい。ふるさとで培われた力を只見町のために様々な形でお力添えいただきたい」と式辞を述べました。続いて、成人証書の授与、佐藤孝義町議会議長からの祝辞、横山大さんから新成人へのメッセージが贈られました。

最後に、成人者を代表して湯田来喜さんが謝辞を述べました。出席者は人生で一度きりの節目を、家族や友人と喜び合っていました。

成人者代表謝辞

本日は私たち新成人のために、このような式を催していただき、誠にありがとうございます。

私たちは今日、成人という人生の大きな節目を迎えました。生まれ育ったこの故郷で、多くの方々に支えられながら成長することができたことを、大変幸せに思います。

これまで支えてくださった家族、地域の皆様、先生方をはじめ、私たちに関わってくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。特に家族には、たくさんのお愛情と支えをいただきました。この場をお借りして、心から感謝を伝えたいと思います。

これからは成人として責任と自覚を持ち、感謝の気持ち忘れず、地域や社会に貢献できる人間を目指して努力してまいります。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

1_謝辞を述べる湯田来喜さん 2_成人証書を受け取る渡部美空さん 3_メッセージを書いた巻物を広げる横山大さん 4_久しぶりの再会に和やかな雰囲気でした



令和8年度 只見町はたちの成人式



「18歳の酒」& 「小学5年生の酒」 が贈呈

「18歳の酒」プロジェクトとは、只見高校・南会津高校の3年生を対象に、地元のものづくりの文化に触れてもらいたいとの思いから始まりました。1年を通じて酒米作りと酒造りに参加し、できたお酒は2年間貯蔵されました。当日は山内征久実行委員長から、参加メンバーを代表して目黒琳太郎さんにできあがったお酒が手渡されました。

また、今年初めて「小学5年生の酒」プロジェクトのお酒が新成人に手渡されました。この企画は、地域の農業や食、自然の豊かさを学び、成人の節目にふるさとを見つめ直してもらうことを願い始めました。

田植えや稲刈りを体験し、育てたお米でできた米焼酎は9年間大切に熟成・保管されました。お酒は合同会社ねっか役員の三瓶清志さんから、参加メンバーを代表して浅野琳さんに贈呈されました。

5_中学校の恩師を囲んで
6_「18歳の酒」プロジェクト参加メンバー
7_山内征久実行委員長から代表でお酒を受け取る目黒琳太郎さん
8_「小学5年生の酒」プロジェクト参加メンバー

